

III 単元指導計画 (実施時期 4月～3月 75時間) 【食・環境】

目標		○米や米作り、米の食文化について地域の人や友達と共に進んで調べ、色々な見方考え方を深めていく中で、米のよさや大切さ・地域の人々の知恵と努力に気付く、自分ができることを考え実践しようとする。				
		評価 規 準				
関心・意欲・態度		思考・判断		技能・表現		
知識・理解						
米や米作り、食文化に興味をもち、進んで課題を見つけて解決したり、自分にできることを考え実践したりしようとする。		体験したことや調べたことに応じて整理し、多面的に考えて分析し、意見を交流させながら自分の考えを広げたり深めたりすることができる。		地域の人や友達と協力しながら、課題を解決するための適切な情報を収集・選択したり、相手や目的に応じたまとめ方や伝え方を工夫したりしている。		
安全な米作りや米のよさ・大切さ地域の人々の努力について理解する。						
過程	時間	主な学習活動	子どもの意識の流れ	主な支援	評価観点	評価項目(評価方法)
ふ れ る ・ つ か む	1 ・ 2	○米や米作りに関心をもつ。 ○米や米作りについて知っていることを書き出す。	・おいしいな。 ・自分たちもこんなお米が作ってみたい。 ・米はどうやって作るのかな。 ・わたしたちは、米を毎日食べているね。	○昨年度の5年生が作った米を提示し、実際に食べてみるにより関心を高めるようにする。 ○知っていることや考えたことを学習カードに書かせたり、黒板に書いて発表させたりすることにより、米や米作りのイメージを広げさせる。	関	○米や米作りについて関心をもっている。 (観察・発言・学習カード)
	3	○どんな米を作りたいか理由を考えて、意見を出し合う。 ○大課題を設定する。	・おいしく心を込めて作りたいな。 ・安全、安心なお米を作りたいな。 ・去年の5年生のように自分たちが作ったお米を4年生にプレゼントしたいな。	○社会科「米作りのさかんな庄内平野」の喜ばれる米作りを想起させ、おいしさだけでなく安全性に目を向けさせていく。 資料例： ・外国産米 ・農薬使用量 ○4年生の時の初年だんごづくりで米粉を使ったことを想起させる。 大課題1 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">安全・安心でおいしい米を作って4年生にプレゼントしよう。</div>	思	○根拠を考えて、適切な課題を設定している。 (観察・発言)
	4 5 6 7	○種もみをまく。 ○苗の成長を観察する。	・種もみをまいて稲の苗を育てるんだね。この後どんな育ち方をするのだろうか。 ・どんな世話があるのかな。 ・育苗箱を置く場所によって、苗の育ち方が違うね。 ・いつ頃、どのように田植えをするのかな。	○利根実業高校の先生や生徒の話をよく聞いて、種まきの仕方が覚えられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">外部講師：利根実業高校の方たち</div> ○教室でも、シャーレに種をまいて発芽の様子を観察させ、興味をもたせる。 ○苗を観察し、観察カードに記録させる。 ※種もみまき 4月下旬 種もみまきから約3週間で田植え	関	○田植えの準備作業や苗の観察に意欲的に取り組んでいる。 ○利根実業高校の先生の説明をしっかりと聞き、積極的にかかわっている。 (観察・発言・観察カード)
	8 9 10	○米や米作りについて調べたいことをカードに書く。 ○小課題を設定する。 ○課題づくりの視点を考え、決める。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">①自分たちが成長する。②長期間調べられる。③大課題と関連している。④自分たちで調べられる。⑤色々な調べ方ができる。</div>	・お米はどのようにして作るのかな。 ・安全な米作りについて調べたい。 ・米作りの昔と今について調べたい。 ・米作りで大変なことについて調べたい。 ・米の品種改良って何だろう。 ・自分たちが成長したり、色々な調べ方ができるのが課題としていいね。 ・どのように調べたり、誰に聞いたりすればいいのかな。	○前時の体験の写真を提示したり、社会科の「米作りのさかんな庄内平野」の大型機械化の内容を想起させたりして、調べたいことが書けるようにする。 ○ねらいの達成につながるように、視点を設定し、課題の吟味をする。 ○KJ法で分類・整理して個→グループ→全体でまとめていく。 小課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・稲の生長や米のしくみ ・安全な米作りの環境 ・米作りの昔と今 ・米作りの工夫・苦労 ・米の種類や品種改良</div> ○同じ課題に興味をもった者どうしてグループを作り、協力し合って調べ活動が行えるようにする。	思	○課題づくりの視点に沿って適切な課題を設定している。 (観察・発言・カード)
	11	○調べるための計画を立てる。	・これで調べられそうだな。 ・よし、がんばって調べよう。	○調べる方法や必要なもの、ことについて考えさせる。 ○課題別に見通しをもって計画を立てられるようにする。 ○インタビューや訪問の予定を立てさせる。	思	○課題追求のための計画を具体的に考えている。 (観察・発言・学習シート)
	12 13 14	○田植えをする。 ○体験したことを調査カードや感想カードに記録する。	・大きくなった苗をいよいよ田んぼに植える。楽しみだな。 ・苗をきれいに植えるためにこんな道具を使うんだな。 ・田んぼの土は気持ちいいよ。(気持ち悪いよ) ・手で植えるのは腰が痛くて、時間もかかり、とても大変な作業だな。 ・順調に生長してほしいな。	○土(泥)の感触を十分味わい、楽しく田植えを体験させる。 ○田植機での作業も、見学させてもらい、手作業と比較できるようにする。 ○稲を発泡スチロールの箱に植え、日常的に生長の様子を観察できるようにする。 ※田植え 5月下旬 ○作業の楽しさや大変さについて振り返らせるとともに、今後の生長への期待を学習シートに記録させる。	関  技	○田植えの作業や振り返りの活動に意欲的に取り組んでいる。 ○利根実業高校の先生や高校生と積極的にかかわっている。 (観察・発言・学習シート)
	15 16	○これまでの観察・活動の記録を整理し、気付いたことを発表し合う。	・農家の人は、多くの苗を植えられてすごい。 ・利根実のお姉さん達は、優しいし上手だな。 ・機械と手作業では、速さに違いがあるな。	○国語「言葉の研究レポート」の表や社会「水産業で働く人の変化」のグラフを提示して、情報に合った整理の仕方を考えさせる。 ○教室での学習時には、大課題を掲示して、4年生にプレゼントすることを意識させる。 ○情報の量が少ないことが予想されるので、個→全体で発表し合う。	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。 (観察・学習シート)
	17 18	○小課題に沿って、グループごとに調べる。	・品種の改良をするには長い年数がかかっている。 ・稲は、胚乳から栄養をとっているんだ。	○本やインターネットなどを活用して自主的に調べさせる。	技	○必要な資料を収集、選択し、課題について調べている。 (観察、学習シート)

追	19		・友達に教えてもらって、新しい資料が手に入ったぞ。			
	20					
究	21	○米作りの体験活動を継続する。 ・雑草や虫への対応 ・水の管理 ・生長の様子を観察 ・田んぼの生き物の観察	・田んぼを踏むと草がはえてこないんだな。 ・田んぼには色々な生き物がいるんだな。 ・いつも稲の様子を見たり水やりをしなくてはならないから大変だ。 ・丈が伸びて生長してきた。 ・稲は分けつして太くなっていくんだな。	○稲の生長の妨げとなる雑草や虫をとり除く作業を体験させる。 ○アイガモを見学し、除草や虫取りについて利根実業高校の先生に説明していただく。 ○稲の生長には水の管理が重要なことを体験を通して実感させる。 ○観察用の稲を決めて草丈の伸びや分けつの様子について継続して観察、記録できるようにする。 ○理科「生命の誕生」との関連を図る。	関 技	○作業や観察活動に意欲的に取り組んでいる。 (観察・発言)
	22					
	23	○調べたことを整理し、分かったことや自分の考えを学習シートに書いて、小課題別の班で整理する。	・除草は、大変だね。 ・長い年月をかけて、おいしいお米ができています。 ・自然の除草法はやった方が良い。 ・生物がいるのは、安全ということだね。	○情報に応じて適切な整理ができるようにする。 ○小課題の班で、情報の提供をするなど協力し合って、分類・整理させる。 ○社会「水産業の変化」の学習の資料を提示して、思考の仕方を想起させ活用できるようにする。 ○友達と意見の交流をして、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。 (観察・学習シート)
す	24					
	25					
る	26	○分かったことを知らせ合う。 ○さらに詳しく調べたいことを考える。	・他のグループはどんなことが分かったのかな。 ・関係していることはあるかな。	○グループごとに発表し合い、知識を共有する。 ○考えを深めさせたいことについては、発問を工夫する。	知 思	○考えを交流させながらよりよい課題解決のためにさらに調べることを考えている。 (観察、発言、学習シート)
	27					
35	28	○除草をする。	・稲が腰ぐらいに伸びてずいぶん生長したな。 ・稲の葉で、足が切れて痛かったり、歩きづらかったりするけど、おいしいお米作りや4年生にプレゼントするために頑張ろう。	○田んぼの稲の間を歩くことで、除草ができて酸素が送られたりして、稲が元気になること、殺虫剤の回数が減らせることを利根実業の先生に話していただき、満足感をもたせたい。	関	○作業や観察活動に意欲的に取り組んでいる。 (観察)
	29					
30	30	○さらに詳しく調べる。 ※7月～夏休み中 ・生長の様子を観察や世話	・いろいろなことが分かってきたな。 ・稲の花は、白くてかわいらしいんだな。	○課題に沿った追究方法を工夫するよう助言する。 ○夏休み前後の変化をとらえさせ、観察カードに記録させる。	技	○必要な資料を集め、知りたいことを探しながら調べている。 (観察、学習シート)
	31	・農家の人へのインタビュー	・農家の方は、毎日稲の心配をしているんだな。 ・色が変わって穂が垂れてきたな。 ・雀がいっぱいいたよ。お米が食べたら大変だ。	農家の人：沼須や栄町の田んぼの持ち主 ※出穂 8/5～10 開花 受粉 色づき 穂が垂れる 9月 田んぼの水をきる 9月中旬	関	○作業や観察活動に意欲的に取り組んでいる。 (観察・発言)
32	32	○かかし作りをする。				
	33	○調べたことを整理し、考えの交流をする。	・農家の方は、色々世話があるし、工夫して仕事をしている。 ・沼田は、お米作りの自然条件が良いな。 ・農薬は最小限が良い。	○7月～9月までに得た情報に応じて適切な整理ができるようにする	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。 (観察・学習シート)
34	34					
	35	○稲かりをする。	・鎌の使い方に慣れてきたよ。 ・かった稲はこのようにして干すんだな。 ・やっとお米ができてうれしい。 ・自然乾燥と機械乾燥ではどう違うのかな。 ・地域の農家では、どちらでやっているのかな。	○稲が実ったこと、それを収穫することの喜びを感じながら楽しく作業をできるようにする。 ※稲かり 9月末～10月初旬 天日干し 2週間(雨が多いと1カ月) ○作業の楽しさや大変さについて振り返らせるとともに、収穫の喜びを学習シートに記録させる。 ○学校で育てた稲の収穫も行う。	関 技	○稲かりの作業や振り返りの活動に意欲的に取り組んでいる。 ○利根実業高校の先生や高校生と積極的にかかわっている。 (観察、発言・学習シート)
36	36					
	37					
38	38	○調査や情報収集	・機械乾燥だとお米が割れる ・それぞれの作業を機械でするんだな。 ・わらやもみがらやぬかはどうするのか。 ・いよいよ食べられるお米になった。4年生にもプレゼントできるね。 ・おいしいかどうか食べてみよう。 ・利根実業高校の先生や生徒さんと一緒に食べたいな。	○本やインターネット、聞き取り調査をさ ○作業の様子をよく観察させる。 ※10月下旬 ○昔の道具での作業も体験させ、今の作業との違いに気付かせたい。		○必要な資料を収集、選 ○作業や見学活動に意欲的に取り組んでいる。 (観察・発言)
	39					
40	40	○脱穀、もみすり 精米をする。(見学する)				
	41					
42	42	○調べたことを整理し、考えの交流をする。	・一粒の種からこんなにたくさんのお米がなるなんてすごいな。 ・機械と手作業ではそれぞれによさがあるんだな。 ・お米を育てるのは大変なんだな。 ・地域の人の協力や温かさが感じられるな。 ・わらやもみ殻やぬかは色々利用されているんだな。	○情報に応じて適切な整理ができるようにする。 ○小課題の班で、情報の提供をするなど協力し合って、分類・整理させる。 ○考え方の見本を提示したり、良く書けている友達の考えを紹介したりして、自分の考えがもてるようにする。 ○同じ小課題の班の友達と意見の交流をして、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。 (観察・学習シート)
	43					
44	44					
	45	○分かったことや考えたことを知らせ合う。	・他のグループはどんなことが分かったのかな。 ・米を大切にしたいという	○小課題の班ごとに発表し合い、知識を共有する。 ○考えを深めさせたいことについては、発	知	○考えを交流させながら自分の調査結果や考えと関連付けたり、比較し

まとめる1	46		考えが同じだな。	間を工夫する	思	たりしている。(観察、発言、学習シート)
	47	○お世話になった利根実業高校の人達に手紙を書く。	・おいしいお米づくりでは、とてもお世話になったな。	○米作りを通して学んだことや自分が成長したこと、専門性、努力、優しさについて感じたこと、感謝の気持ちが書けるようにする。	知	○安全な米作りや地域の人のよさについて理解している。(児童の手紙)
ふれる・つかむ		○新米を炊いて味わう。(家庭科2時間扱い)	・お世話になった利根実の先生や生徒さんも招待しよう。 ・自分たちで作って、収穫したばかりのお米はおいしいね。一粒でも大切にしよう。 ・他のお米の料理もやってみてみたいな。	○家庭科「ごはんのみそ汁」の調理実習と関連して、実施する。  ○感謝の気持ちを大事にする。  ○4年生にも、お米をプレゼントして、初午の団子作りで、米粉として使ってもらったり、試食してもらったりする。	関	○利根実業高校の先生やお姉さんたちと楽しく交流しながら食べ、収穫を喜んでいる。(観察)
	48	○新米を食べて、さらに調べたいことを考える。	・こんなにおいしいご飯なのに何で食べる量が年々減ってきているね。何でかな。 ・お米のいいところを見つけてみんなに知らせたいね。 ・おうちの人や4年生の人達に伝えたいな。	○米の消費量が減ってきている資料を提示して、問題意識をもたせる。 ○食に関する興味や疑問をもつようにし、共通の大課題を作る。 大課題2 <b>お米のよさを発見して、PRしよう</b>	思	○根拠を考えて、適切な課題を設定している。(観察・学習カード・発言)
	49	○米について調べたいことをカードに書く。	・お米を使った料理を調べてみたい。 ・お米にはどんな栄養があるのかな。 ・お米の利用法やお米製品を調べてみたいな。 ・何で調べたり、誰に聞いたりすればいいのかな。	○ウェブマップで米そのものに関するイメージを広げさせる。 予想される小課題 ・お米の栄養 ・米の利用法 ・米からできる製品(食品や加工品) ・米料理(郷土食) ・米の食文化 ・外国米との比較	思	○課題づくりの視点に沿って適切な課題を設定している。(観察・発言・カード)
追究する	50	○小課題を設定する。	・お米の栄養や調理法は栄養士さんに聞くといいかな。 ・米製品は、スーパーマーケットで調べられそうだな。 ・インターネットにも、出ていそうだな。	○調べる方法や必要なもの、ことについて考えさせる。 ○課題別に見通しをもって計画を立てられるようにする。	思	○課題追求のための計画を具体的に考えている。(観察、発言・学習シート)
	51	○課題毎の班編成をし、調べる計画を立てる。	・お米は私達の暮らしと深いつながりがあるんだな。 ・日本の食文化を見直した ・新しい米の利用がみつかった。	○お米の栄養や調理法については、栄養士さんから教えていただく。また、家庭でも聞き取りをして、調理もできるようにする。 <b>外部講師：給食センターの栄養士</b>	関 技	○必要な資料を収集、選択し、課題について調べている。(観察、学習シート)
	52	○計画に沿って調べる。	・お米は健康にいいから、毎日食べた方がいい。 ・地域の人のお米のよさを生かす知恵はすばらしい。	○情報に応じて適切な整理ができるようにする。 ○同じ小課題のグループ毎に、意見交流をして、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。(観察・学習シート)
	53	○調べたことを整理し、考えの交流をする。	・さらにお米のよさが分かってきた。  ・お米は大切なんだね。	○全体で調べた内容や考えたことについて、知らせ合い、共通点や相違点に気付かせる。	知	○考えを交流させながら自分の調査結果や考えと関連付けたり、比較したりしている。(観察、発言、学習シート)
	54	○分かったことを知らせ合う。	・みんなに分かりやすく伝える方法を考えよう。 ・写真や図やグラフを使ったり、実演するのもいいな。	○米作りや米のよさについて調べてきたことを、大勢の人にわかりやすく伝えるにはどうしたらよいか考えさせる。	思	○相手や目的に応じて適切に伝える方法を考えている。(観察・発言)
まとめる	63	○調べたことや体験したことをどのように伝えたらよいかを考える。	・調べたことから選んで分かりやすくまとめよう。 ・写真を使ってまとめると分かりやすいものがあるな。 ・聞いている人によく伝えるように考えながら練習しよう。	○他教科で学習したことも必要に応じて生かしながらまとめさせる。 ○内容が相手によく伝わるように発表の仕方を工夫させる。	技 知	○分かりやすくまとめ、伝えるために工夫している。(観察・発表資料)
	64	○発表の資料を作り、練習をする。	・みんなに聞いてもらえてよかったな。 ・しっかり伝えられたな。	○児童が伝えたい相手について事前に参加をお願いしておく。	関 技	○伝えたいことが明確に伝わるような発表の仕方をしている。(観察・発表)
生かす・広げる	65	○発表会をする。	・いろいろなことを体験したり調べたりしてきたな。 ・米や米作りについてたくさんのが分かった。 ・お米を大切にしよう。	○これまでの活動を写真やポートフォリオで振り返らせ、考えを深めさせる。 ○考えを作文に書かせる。	関 思	○これまでの活動を今後の自分の生活と結びつけて考えている。(観察・作文)
	66	○活動を振り返り自分ができることを考える。	・ご飯を残さず食べよう。 ・安全な米づくりができるように良い環境をつくろう。 ・ご飯を食べる日を増やそう。 ・米作りの手伝いをしよう。 ・物は最後まで大切にしよう。	○作文を交流させ、自分ができることをまとめる。	思	○友達と考えを交流させながら、これからの自分達にできることについて考えを深めている。(観察・発表・学習シート)
	67	○自分達ができることについて話し合う。				
8	70					
5	71					
	72					
	73					
	74					
	75					